

## 第6次長期総合計画へのパブリックコメントの結果について

1. 募集期間 令和3年7月28日（水）～8月16日（月）【20日間】

2. 意見数 21件

	人数	意見数	平均
男	6人	13件	2.2
女	4人	8件	2
計	10人	21件	2.1

※全てEメールでの提出

3. パブリックコメントの概要

	件数	意見傾向
①序論	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時代の潮流に関連した先進技術の提案</li> <li>・まちづくりへの課題の文章表現について</li> </ul>
②基本構想	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デザインの統一性について</li> <li>・SDGsについて</li> <li>・その他要望的な意見</li> </ul>
③前期基本計画	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構成全般について</li> <li>・子育て支援と学校教育に関する施策について</li> <li>・障がい者福祉について</li> <li>・産業振興と交流について</li> </ul>
④資料全般	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概要版の作成について</li> </ul>

4. 計画への反映について

パブリックコメントの内容を精査した上で、総合計画への反映内容について、次回の審議会でお示しします。

第6次長期総合計画へのパブリックコメントの結果について

資料5

1. 募集期間：令和3年7月28日（水）～8月16日（月）

2. 意見数： 21 件

NO	資料種別	ページ	行	意見	意見に対する考え方
1	序論	6,11,12		<p>基本構想を考える上で、「社会情勢や・・・」（6ページ4行目～6行目）を踏まえつつといい、11ページ以降で「主な時代の潮流」をあげているが、<u>基本構想や基本計画の中に地球温暖化問題、新型コロナウイルスなどの新規感染症問題などにどのように対応していくかの計画が一つもない。</u></p> <p>例えば、エネルギーの地産地消という観点でできることをあげるとか 感染症問題では、市民病院の役割変更など計画に入れても良いのでは</p>	<p>序論の「まちづくりの課題」におきまして、東日本大震災と新型コロナウイルス感染症を踏まえ、「新たな危機への対応」として記載しております。</p> <p>新たな感染症への対応に向けた施策については、以下のとおり、分野3「生活」に施策を設けます。</p> <p><b>【基本構想】</b></p> <p>③新型感染症の発生に備えるとともに、発生した場合には、市民の生命や健康、生活、地域経済を守るため、状況に応じた適切な対策を講じます。</p> <p><b>【基本計画】</b></p> <p>第1節（4）新型感染症への対応</p> <p>①新型感染症への対応として、発生に備えるとともに、市民の生命及び健康を守るため、国や県などと連携し、可能な限り感染拡大の抑制に努め、市民生活や地域経済への影響を最小限に止めます。</p> <p>また、地球温暖化対策につきましては、前期基本計画の分野3「生活」の第3節におきまして、施策を盛り込んでおります。</p>
2	序論	10		<p>[地方創生]</p> <p>※意見提出者から具体的な該当ページの指摘がないため、10ページ「4 主な時代の潮流 2)地方創生の推進」への意見として整理</p> <p>スマートベイ構想が考えられます。デジタル技術で漁業・貨物船舶を含めた港湾施設をDXでフォローしようとするものではありません。湾内にある牡蠣棚と同じイメージで島と島間のスペースにサーバー棚をつくり、湾内を海中データセンターにすると云う構想です。既に米マイクロソフトでは海中サーバーの実験が最終段階を迎えています。<u>サーバー棚を海面上層部が車の通行で移動可能な筏で吊り上げる。その筏の上を自動運転レベル1の車両がサーバーメンテしながら、島々を乗合バスとして運行する構想です。</u></p>	<p>前期基本計画の分野8「浦戸諸島」におきまして、「先端技術の活用による島生活の充実」を掲げており、「企業などと連携し、先端技術を活用した買い物支援や移動支援などについて検討を進める」としております。</p> <p>いただいたご意見や今後のデジタル化の推進状況を参考にしながら、島民がより安心して暮らせる島づくりに努めてまいります。</p>

NO	資料種別	ページ	行	意見	意見に対する考え方
3	序論	12		<p>[SDGs]  ※意見提出者から具体的な該当ページの指摘がないため、12ページ「4 主な時代の潮流 6)SDGsの取組推進」への意見として整理  老朽化に伴う<u>清掃工場の移設・新設の問題は、政府が20年10月に纏めた「カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」即して取り組むべきと考えます。即ち焼却オペレーションが省電力で且つ発電能力を有する施設として完結するのではなく、<u>火力+CO2(二酸化炭素)の回収でブルー水素・アンモニア燃料の生成を目的としたプラント工場</u>としてつくるべきだと思えます。塩釜港には座礁資産となりつつある石油貯蔵施設があります。船舶が停泊できるその場所に官民連携して施設をつくるべきと考えます。</u></p>	<p>前期基本計画の分野3「生活」におきまして、「脱炭素社会に向けた再生可能エネルギー等の活用について調査・研究を進める」ほか、「環境に配慮した社会資本整備の推進」を掲げております。  いただいたご意見につきましては、様々な施設を整備するにあたっての重要な考え方と認識しておりますことから、今後の検討課題とさせていただきます。</p>
4	序論	13		<p>『まちづくりに関する「市民アンケート」では、<u>住みやすいとは思わないと回答した割合は41%</u>』と記載されているが、<u>その理由は何なのか？の記述が無い</u>。しかし、その次の文章からは『<u>まずは、人と人の繋がり</u>』といきなり結論が出ている。本当に人と人の繋がりがない・もしくは希薄だから、住みやすいとは思わないのか？ また、人と人の繋がりとは具体的にどのようなものを指しているのか？ そもそも、その『繋がり』をこれから塩電市が市民などと一緒に“塩電市独自のものを考えていく”というスタンスなのか？ まちづくりの課題の項目ではあるがその内容にもっと説得力が必要と考える。</p>	<p>ご意見を踏まえ、「まちづくりの課題 2）」についてアンケートの引用部分を含め、以下のとおり、ご指摘いただいた箇所について修正いたします。</p> <p>また、まちづくりに関する「市民アンケート」では、今後のまちづくりのテーマとして「住みよさ」と回答した割合が50%と最も多い結果となりました。</p> <p>このことから、まずは、市民が「住みつけたいくなる」まちを目指すことが重要となっています。そのためには、住みやすさに加えて、暮らしや働き方、社会とのつながりなどにおいて、多様な豊かさを生み出し、まちの魅力度を向上させる取組が求められています。</p>
5	基本構想	16		<p>「塩竈らしい100の暮らしの一例」にイメージのイラストが掲載されておりますが、冊子全体のデザインとの統一性が感じられません。色合いの問題でしょうか、<u>青を基調としたデザインで浮いているように感じます</u>。フルカラーにするなど冊子全体のテーマに合わせたほうが良いと感じました。</p>	<p>「塩竈らしい100の暮らし」のイラストにつきましては、フルカラーにすることで検討しております。</p>

NO	資料種別	ページ	行	意見	意見に対する考え方
6	基本構想	21,22		<p>[社に育む]</p> <p>※意見提出者から具体的な該当ページの指摘がないため、21・22ページ「目指す都市像」への意見として整理</p> <p>毎朝5時、開門を知らせる太鼓の音が境内に響き渡ります。その後、程無くして表坂参道から隋身門をくぐり、鹽竈神社・志波彦神社を詣でた後、太平洋から昇る御来光に首を垂れ、裏参道を経て家路につく人がいます。お社は、このようなルーティンを生きる多数の人によって継承されてきたのだと思います。このように、お社に帰趨して日々を過ごそうとする人の歩みを美しく思います。この歩みこそが、人を魅了し惹きつける縁だと思えます。お社からの景観から推し量れない風景がそこに広がっています。</p>	<p>これまで本市は、海をはじめとした自然と豊かな歴史・文化に培われた人々の暮らしによって育まれてきました。</p> <p>これまでの市民の暮らしをさらに明るく持続可能なものとしていくという想いも込め、都市像を「海と社に育まれる楽しい塩竈」としているものです。</p>
7	基本構想	23		<p>SDGsの表記にとても違和感がある。例えば本計画P24にこの項目におけるSDGs項目として1、2、3、4、16が記載されているが、それで果たしてよいのか？ SDGsは日本語訳でこそ「開発目標」とされ、途上国向けのような書き方となっているが、これは「成長目標」と考えるのが先進国では良いと聞いている。つまりは塩竈市のような成熟した地域でも、今後どのように成長していくのかをSDGsの考え方をベースに作っていくという考え方がよいと思う。</p> <p>それを抜きにしても、P25にある施策の柱の対象に記載されている対象は子供・妊婦・地域である。「健康」や「すこやか」などの言葉は入っているが、具体的にSDGsアイコン1『<u>貧困をなくそう</u>』に対する施策は入っていない。それ以外にも2『<u>飢餓をゼロに</u>』や、16『<u>平和と公正をすべての人に</u>』も見受けられない。ほかにも、『まちづくりの方向性』の項目ごとにアイコンの数に偏りがあるなど、先に『8つの物語』を作ってから、後にSDGsを当てはめたような感じを受けた。</p> <p>もしこのままSDGsマークを使用するのであれば、その表記方法として、「施策の柱に具体表記は乏しいが、本計画のこの項目はSDGsのこれらの目標の達成も含まれています」などの一文が必要と考える。</p>	<p>地方でのSDGsの推進が地方創生にも資するとされていることから、第6次長期総合計画におきましては、基本構想・前期基本計画の施策などとSDGsの目標を関連付けながら、一体的に推進していくこととし、序論や前期基本計画にその旨を記載してあります。</p> <p>また、分野1「子ども」の施策とSDGsとの関連であります。 「目標1 貧困」「目標2 飢餓」「目標16 平和」につきましては、施策の柱(1)③の「境遇や環境によって、健やかな成長が損なわれることがないように、全ての子どもたちの生活、成長、学びを支援します。」や、(3)①の「子どもたちの健やかな成長に向けて、だれでも安心して過ごせる居場所づくりを充実させるなど、学校・家庭・地域が連携して子供の育ちと子育てを支えます。」と主に関連しております。</p> <p>具体的な施策につきましては、前期基本計画の分野1「子ども」に記載している「子育て支援に係る経済的負担への支援」や、「家庭の状況に応じた相談や、生活の安定・自立に向けた支援」、「児童虐待やドメスティックバイオレンスなどの早期発見・早期対応」、「地域などが主体となった放課後の居場所づくり」などが主なものとなっております。</p>

NO	資料種別	ページ	行	意見	意見に対する考え方
8	基本構想	24	18	<p>(1) ③ 境遇や環境によって、健やかな成長が損なわれることがないよう、全ての子どもたちの生活、成長、学びを支援します。</p> <p><u>全ての児童が境遇に関係なく支援してもらえるのならば、シングル家庭、世帯収入関係なく全子供平等に支援してほしい。</u>税金納めているのに、医療費無料化も対象外で、シングル家庭と比べ支援もなく生活を切り詰めて生活しているので大変苦しい。他の市町村は子育て世帯対象に商品券など配っている。地元の商品をくれるより、商品券のほうがおむつ、子供用品に使えるので商品券を配ってほしい。なぜ高齢者にだけ手厚いのですか？</p>	<p>まちづくりの目標の一つ目に「子どもたちの笑い声があふれるまち」を掲げ、子どもたち一人一人とその保護者への切れ目ない支援を行っていくこととしています。</p> <p>これまでも子育て支援につきましては、様々な施策を講じているところであり、今後につきましても、子育て世帯の方々のニーズを的確に把握しながら、塩竈での子育てに満足いただけるよう、施策の充実に取り組んでまいります。</p>
9	基本構想	24	23	<p>(3) ② ごみの減量化と適正な処理、「3R(スリーアール)」活動の推進や再生可能エネルギーの利活用、温室効果ガスの排出抑制に努め、循環型社会の早期実現に向けた取組を促進します。</p> <p>実家付近の、<u>ゴミ集積所のネットが10年以上替えず大きい穴が空いている。</u>そのため、カラスが簡単にゴミを漁る事ができ悪臭が漂っている。残骸がゴミ集積所周辺に散らばり衛生状大変悪い。これも町内会に意見しましたがまったく改善の様子がないです。コロナ禍で衛生状態に敏感な世の中でこれは許されるのですか？早急に各集積所のネットの交換をし、定期的にネットの点検を各町内会に義務付けてください。</p>	<p>前期基本計画の分野3「生活」におきまして、循環型社会の実現に向けた施策として、「生活環境の清潔保持」を掲げております。</p> <p>いただいたご意見につきましては、担当部署と共有を図り、町内会などと連携を深めながら、ゴミ集積所の適正な維持管理に努めてまいります。</p>

NO	資料種別	ページ	行	意見	意見に対する考え方
10	基本構想	30	14	<p>(2) ③安全で安心な生活基盤の確保に向けて、道路や上下水道については、安心して利用できるよう適切な維持管理に努めるとともに、施設等の長寿命化を計画的に進めます。また、公共施設については、長期的な視点から、更新や統廃合、長寿命化を進めます。</p> <p>・<u>自宅の前の道路がでこぼこで砂利道。舗装してないので、毎日砂埃が舞い家の中まではいつてきます。雨の日は水溜りになっています。車のタイヤがパンクしました。車通りが多く、砂利が減り、こんなとこに家を建てるんじゃないかと後悔するほどです。新しい宅地で子供もたくさん住んでいるのに、砂利のため雑草は生え放題。いい住環境とは言えません。ずっと意見をあげていますがまったく話を聞いてくれません。早く舗装してください。</u></p> <p>・<u>実家付近で、通り抜けの車が多くスピードを出しすぎて大変危険な状態です。子供の通学路にもなっているのに、おかまいなしに危険運転が、多く見られます。町内会にも意見しましたが、まったく改善されないで、各地域の宅地内速度制限の表示を道路に書いてください。</u></p>	<p>前期基本計画の分野3「生活」におきまして、「地域と連携した狭あい道路の改善」や、「道路の計画的な整備と維持管理に努める」としております。</p> <p>また、同じ生活の分野において、「交通安全施設の整備と適切な維持管理を行うとともに、交通事故防止に向けた普及啓発に努める」こととしております。</p> <p>いただいたご意見につきましては、担当部署と共有を図り、引き続き、道路の適正な維持管理に努めていくとともに、交通安全につきましては、所轄である塩釜警察署及び地域と連携しながら普及啓発に取り組んでまいります</p>
11	基本構想	34	3	<p>(1) ①観光客の視点に立ち、「鹽竈神社」「門前町」「食」など、歴史・文化をはじめとした地域資源を結びつけることにより、ストーリー性があり、塩竈でしか味わえない「訪れたい」「また来たい」とされる観光メニューの創出に努めます。</p> <p>地元の友達とよく話すが、塩竈で遊びたいと思わない。カフェも個人系で入りづらく、気軽に入れない。チェーン店のファミレスもなくなり、<u>地元の人は地元で遊びたいと思わないのが現状なのではないでしょうか。観光客目線でも、いつもの店があるだけで安心感が生まれ、観光客から定住者へ変わるのではないのでしょうか。この街にはいつものファミレス、カフェ、お店がないから隣町に住んだ方が便利だと思われるでしてしまいます。</u>地元のお店も大事だが、いつもの店があるだけで観光客、定住者が増えるのは目に見えています。多賀城、名取の方が断然住みやすいです。</p>	<p>前期基本計画の分野4「産業」におきまして、地域特性を生かし、「若い世代を中心に、だれもがチャレンジしたくなる創業支援体制の構築」や「個店の魅力を創造する取組」についての施策を掲げております。</p> <p>また、分野5「交流」におきましても、「地域資源を最大限活用した観光メニューの創出」などを掲げており、塩竈の独自性を大切にしながら、産業・交流の振興を図ることとしております。</p> <p>なお、前期基本計画の分野7「協働」におきまして、協働・共創によるまちづくりを掲げ、「企業等との連携を深めることにより、その考え方をまちづくりに取り入れる」としていることから、民間企業などとの積極的な連携により、本市の魅力を高め、若い世代の方にも愛着を持っていただき、定住につながるようなまちづくりを進めてまいります。</p>

NO	資料種別	ページ	行	意見	意見に対する考え方
12	前期基本計画	-	-	資料が同じことを何回も書いてるところもあり、読みづらかったです。	「前期基本計画」と「しおがま未来創生プロジェクト」のそれぞれに施策が重複して記載してあった箇所についてのご意見と推察されます。 「しおがま未来創生プロジェクト」につきましては、前期基本計画の施策の中で重点的に取り組むものとしていることから、施策を再掲する構成としておりました。 ご指摘いただいたとおり、同じ施策が複数回掲載されているので、分かりづらくなっていたことから、構成の見直しを行い、「しおがま未来創生プロジェクト」については、別冊とすることといたします。
13	前期基本計画	20	3	子育て世代包括支援センターなどを中心とした、妊娠期から子育て期にかかるワンストップで切れ目のない支援は重要な施策だと思います。 その際、特に支援が必要な子どもについては、就学前から子どもの成長期を通して、センターと幼稚園や保育所、小中学校が連携し、情報交換しながら継続して一人一人の成長を支援していくという、関係機関の連携による支援の連続性も必要だと思うので、記載してはいかがでしょうか。卒園、卒業したら終わりではなく、市ぐるみの一貫したフォローアップが望ましいのでは。	ご意見を踏まえ、分野1「子ども」第1節（3）の施策について、以下のとおり修正いたします。 ②関係機関との連携を図り、 <u>子どもたちの個性に応じた切れ目のない支援を行うとともに</u> 、児童虐待やドメスティックバイオレンス（DV）など、家庭における問題の早期発見・早期対応に努めます。
14	前期基本計画	21	3,15	基本構想の子どもの分野について、（2）①で、一人ひとりの個性を生かす取組により、「子どもたちの夢に向かって頑張る力」を育んだり、②でも、子どもたちの「郷土を愛する心」や「未来を担う力」を育むという方向性に賛同します。 前期基本計画の施策体系でも、第1章第2節に（1）①で「 <u>子どもたちの夢に向かって頑張る力</u> 」や（2）①で「 <u>未来を担う力</u> 」の育成につながる施策が明確になっていればよかったですと思います。	前期基本計画の分野1「子ども」の第2節に学校教育についての施策を記載しております。「協同的な学び」や「小学校と幼稚園・保育所との連携」、「いじめの未然防止」などのほか、「海外との積極的な交流」、「ICTを効果的に活用した教育環境整備」についての施策を掲げております。 これらの施策を総合的に取り組んでいくことにより、「子どもたちの夢に向かって頑張る力」や「未来を担う力」を育んでいこうとするものです。
15	前期基本計画	23		成果指標「2. 一時預かり保育利用者数」について 現状値の単位が「～人」であるため、指標名「一時預かり保育利用者数」を「一時預かり保育利用者数」のように表現を変えると分かりやすいと思います。（利用者数だと「～回」とも捉えられる表現であるため）	ご意見を踏まえ、指標名を「一時預かり保育利用者数」に修正いたします。

NO	資料種別	ページ	行	意見	意見に対する考え方
16	前期基本計画	31		本計画では障がい者福祉の部分が曖昧感じられた。具体的な成果指標を見てみても【「障がいのある人もない人も共に安心して暮らせる福祉のまちづくり条例」を知っている人の割合】を増やすことだけで、それが確実に実施されているかどうかを確認する指標はない。条例を知っている、実際にその通りに運用されていなければ誰もがぐらしやすいとはならないのではないかと。例えばだが、 <u>条例を知ると同時に「条例がしっかり実行されているか」という指標があってもよい</u> と考える。	前期基本計画の分野2「福祉」の成果指標におきまして、『「障がいのある人もない人も共に安心して暮らせる福祉のまちづくり条例」を知っている人の割合』を設定しております。 まずは、本条例の認知度を高めていくことが重要であると捉え、昨年度実施したアンケート調査において基準値が設定できるものとして、本指標としているものです。 いただいたご意見につきましては、今後のアンケート調査の項目を見直すなど、検討課題とさせていただきます。
17	前期基本計画	44	3	塩竈で生まれ育ち、鮮度やバリエーションなど、食文化の豊かさを実感しています。「食による産業振興」を図るうえで、食にかかわる様々な産業の連携促進による食のブランド向上と新たな地域資源の創出に努めるとしています。 大いに期待したい施策ですが、 <u>連携促進や創出への努力は事業者による取組が主であり、実効性を高めるためには行政の支援が不可欠</u> なので、その旨を記述してもよいのではないのでしょうか。	ご意見を踏まえ、分野4「産業」第1節(1)の施策について、以下のとおり修正いたします。  食に関わるさまざまな産業の連携促進により、食のブランド力向上と新たな地域資源の創出を支援し、「食による産業振興」を図ります。
18	前期基本計画	46	19	塩竈には加工団地以外に企業誘致の適地はないと思っています。 単なる企業誘致ではなく、塩竈の地域特性を生かしたり、特有の地域課題解決に向けた実証実験の場の提供による産業の種の創出という視点に興味を持ちました。	水産加工団地には食に関わる様々な企業が立地しております。水産品や水産加工品をはじめとした多彩な食などの地域資源を生かしながら、企業誘致に努め、地域経済の活性化を図ってまいります。
19	前期基本計画	54		まちづくりの方向性の『観光交流による賑わいづくり』について、 <u>成果指標が現状値、目標値でほぼ変わりなく、辛うじて観光消費額が多少上がっているのみ</u> です。観光消費額は物価の上昇でほぼ達成可能な数字と考えられます。現状維持な成果指標ならば、『観光交流によるにぎわいづくり』の賑わいとは何をもって賑わいと評価するのでしょうか？ つまりは現在でも十分観光は賑わっているので「現状で問題ない」ということで、わざわざ本項目を設定する意味が薄いと考えます。 <u>本項目の成果指標は根本的な指標の内容も含めて、本当にこれでよいのでしょうか。</u>	前期基本計画の分野5「交流」の成果指標としている「観光客入込数」と「観光案内所の利用者数」につきましては、目標値を新型コロナウイルス感染症の影響が出る前の令和元年度の基準値と同じとしておりました。 長期総合計画審議会においても、目標値の設定についてご指摘がありましたことから、以下のとおり見直しを行っております。 ・観光客入込数目標値(令和8年度) 236.9万人 → 244.2万人 ・観光案内所の利用者数目標値(令和8年度) 16,692人 → 18,000人



NO	資料種別	ページ	行	意見	意見に対する考え方
20	前期基本計画			<p>前期基本計画としおがま未来創生プロジェクトとの関係性は何でしょうか。</p> <p>未来創生プロジェクトは基本計画の抜粋・再掲?のような構成とお見受けしますが、あえてそのような見せ方にする必要は何でしょうか。冊子全体の構成としてわかりづらかったです。未来創生プロジェクトの説明に「重点的に取り組む施策」との記載があるのでダイジェスト版的な位置づけなのでしょうか。であれば、別冊として示すなど見せ方に工夫が必要ではないでしょうか。</p>	<p>「しおがま未来創生プロジェクト」につきましては、前期基本計画の施策の中で重点的に取り組むものとしていることから、施策を再掲する構成としておりました。</p> <p>ご指摘いただいたとおり、同じ施策が複数回掲載されているので、分かりづらくなっていたことから、構成の見直しを行い、「しおがま未来創生プロジェクト」については、別冊とすることといたします。</p>
21	資料全般			<p>資料のボリュームが多すぎて、意見を出すことのハードルが高いと感じました。概要版みたいなものがあるとっと意見しやすいのかなと思いました。</p>	<p>第6次長期総合計画の概要版につきましては、別途作成することとしております。</p>